

2026年度大学院一般入学試験(秋入学)問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語学・日本語教育に関する問題

問題1と問題2の両方に答えなさい。

【問題1】 次のA群から1問、B群から1問をそれぞれ選んで、解答しなさい。

＜A 群＞

1. 現代日本語におけるアスペクトの補助動詞のうち主要なものをいくつか挙げて、用例を用いて具体的に説明しなさい。
2. 現代日本語においてヘッジ（ぼかし）に該当する文末表現をいくつか挙げて、用例を用いて具体的に説明しなさい。

＜B 群＞

3. 日本語教育における「作文指導」の方法は、どのような変遷をたどってきたか。指導のねらいやポイント、指導内容を示しながら説明しなさい。
4. 「聴解」とはどのような行為か説明しなさい。そして、それに基づいた「聴解指導」は日本語教育でどう行われているか、授業を3つの段階に分け、指導内容やポイントを説明しなさい。

【問題2】 次のA群から2つ、B群から2つの用語をそれぞれ選んで、解説しなさい。

＜A 群＞

1. ナ行子音
2. 動詞テ形
3. 役割語
4. 使役受動態
5. 高橋太郎

＜B 群＞

6. やさしい日本語
7. インプット仮説
8. 訂正フィードバック
9. ディクトグロス
10. パーマー (Palmer, H. E.)

解答または解答例：

Sample Answer(s) or Outline:

【問題 2】

＜A 群＞解答

1. ナ行子音 日本語の標準的なナ行子音は歯茎鼻音[n]である。ただし、二のときは調音点が少し後ろに下がり、後部歯茎鼻音[ɳ]とされている。
2. 動詞テ形 日本語教育では動詞テ形を接続助詞ではなく、動詞の活用形的一种として扱う。Ⅰ類動詞（五段動詞）のテ形は複雑な活用をするため、語幹子音の行ごとに暗記しなければならないのに対し、Ⅱ類動詞のテ形はマス形の語尾マスをテに変えるだけで作ることができる。
3. 役割語 日本語には人物のイメージやキャラクターと結びついた表現があり、特に人称代名詞や終助詞などに顕著に表われる。例えば「わしは～じゃ」は老人語、「あたし～なの」は年少の女性、「ぼく～だよ」は少年語など。小説の人物台詞、アニメのキャラクター、洋画の吹き替えなどで顕著に使用される。金水敏氏の研究が有名。
4. 使役受動態 「させられる」のように使役形と受身形を重ねて用いる態。自分の意志ではなく、他者の使役や強制によってその行為を行うことを表す。
5. 高橋太郎 国立国語研究所教授などを務めた日本語学者。名詞述語文の研究や動詞・形容詞の周縁的用法の研究などがよく知られる。コーパスがまだなかった時代に手作業で用例を収集し、徹底的に実例主義を採った先駆者としても知られる。

【問題 2】＜B 群＞

6. やさしい日本語

災害時に必要な情報を外国人に伝えるための簡単でわかりやすい日本語のこと。一文を短くする、文節にポーズを入れる、難しい単語の言い換え、まぎらわしい表現やあいまい表現の回避など。

7. インプット仮説

クラッシュェンのモニターモデルの一つで、理解可能なインプット（学習者のレベル*i*より少し高いレベル＝*i*+1）を十分に受けることが習得を促進すると考える。

8. 訂正フィードバック

学習者の誤用に対して教師が行うフィードバックのことで、明示的なものから暗示的なもの（リキャスト）まであり、学習者に自己訂正を促すプロンプト（繰り返し、明確化要求、メタ言語的修正、誘導）もある。

9. ディクトグロス

目標とする文法項目が含まれている文章を教師が音読し、単語や語句を中心に学習者はメモを取る。その後、グループで協同的に文章を再構築する指導方法。

10. パーマー (Palmer, H. E.)

1922 年文部省英語教授顧問として英国から日本に招かれ、オーラル・メソッドによる英語教育の普及に努めた。日本語教育では親交のあった長沼直兄が影響を受けて、問答法による日本語教授法やテキストを開発した。

出題意図：

purpose of Questions：

【問題 1】

＜A 群＞

出題意図：日本語教師として求められる基礎的な文法知識を有しているかを確認する。

採点のポイント：1. 現代日本語のアスペクトの補助動詞（～テシマウ、～テミル、～テオク、～テクル、～テイクなど）の用例と説明を正確に論述すること、2. 断定をぼかすことで、対人関係に配慮する際に用いられる表現をヘッジ（ぼかし言葉）という。どういう時に必要かという文脈にも言及して適切に説明すること。

【問題 1】＜B 群＞

出題意図：日本語教育や第二言語習得に関する基礎的な知識を有しているか確認すること。

採点のポイント：1. 日本語指導や第二言語習得に関する用語や概念、2. 日本語指導におけるポイント、3. 日本語指導の内容、の 3 点について適切に説明されていること。